

くろしお協力隊に聞く



【今月の担当者】
地域おこし協力隊
(鉄道を中心とした地域活性化)
たかはし とおろ
高橋 徹

㊤ 3月から協力隊に着任した高橋さん。黒潮町で協力隊を選んだ理由を教えてください。

㊤ 私は、18歳まで大阪府で育ちました。大学進学を機に高知県に来て、その後は高知市内で塾講師を20年ほど務めていました。独立して自分で塾を開きたいと考えていたところ、同僚から黒潮町のことや、協力隊について話を聞いて興味を持ち、昨年の夏ごろ黒潮町を訪れました。その際に、役場職員の方に協力隊の制度について話を聞いたことがきっかけです。ここが1つの人生の転機だろうと感じ、また、塾講師も鉄道業もサービス業のため、前職が活かせるのではないかと感じて、黒潮町で協力隊を志望しました。自然が豊かで、海や川も綺麗で、食べ物も美味しくて、良いところだなと感じています。

㊤ 現在の仕事の内容、また、今後の仕事の目標を教えてください。

㊤ 現在は中村駅で研修を受けています。新聞などで紹介されている鉄道の記事を切り抜いて整理する作業をしたり、くろしお鉄道が企画したツアーに同行させていただいてどんな観光地が人気なのかを研究したり、中村駅だけでなく、周辺の駅に行って清掃をしたり、さまざまなお仕事をさせていただいています。研修終了後は、6月ごろから土佐佐賀駅に常駐することになるため、地元の方とコミュニケーションをとりながら、鉄道利用者のニーズを汲み取っていきたいです。また、イベントなどを企画して、県内外から黒潮町に人を呼び込んでいきたいと思っています。



切り抜いた新聞記事をまとめる高橋さん

協力隊から一言!

黒潮町に鉄道を通じて貢献できるよう、自分にしかできないことを探していきます。

Kramer's Corner クレマのコーナー



今月のテーマ マーファ・ライト

皆さん、UFOやお化けを信じますか？ 僕の出身地のテキサス州には、それみたいな超常現象が毎日のように見える場所があると言われています。テキサスの西部に、低木や小高い山しかない荒野が広がり、まるで昔のカウボーイの映画の風景みたいです。そこに、マーファという、2,000人もいないとても小さな町があります。町からちょっと離れた孤独な展望台があり、夜そこから遠くの山を眺めると、不思議な光が現れると言われています。この現象はマーファ・ライトと呼ばれています。

子供の頃、僕はこういう話に興味があり、マーファ・ライトが本当に見えるのか、家族と一緒にそこに行ってきました。展望台で夜を待ち、遠くの暗い山を見つめたら、驚いたことに、多数のかすかに光っている丸い光が見えました。現れしばらく立ち止まり消えていくのもあれば、山肌を左右に走るのもありました。日本の「不知火」のようなものでした。子供の僕にとってすごくワクワクさせる体験でした。

マーファ・ライトの正体は何でしょうか。あの時見た僕は絶対UFOだと思ったが、あるテキサスの大学が調査した結果、温度差により起こされたミラーージュ、または展望台から見える高速道路を走る車のヘッドライトが原因だという説が出ました。しかし、原因はいまだに確実に証明されていないので、UFOだと思うほうが楽しいでしょう。



今月の使える! 英語

U・F・O(ユー・エフ・オー)

知っていますか？ 英語でUFOの読み方は「ユーフォー」じゃなく、3つの文字をそのまま発音し「ユー・エフ・オー」です。

